社会福祉法人

いのちの電話 東京

2020年度 事業報告

坂本富江《水芭蕉》（韮崎大村美術館蔵）

はじめに

長引くコロナ禍の影響で、制約を強いられる生活が続いております。いのちの電話の活動に温かなご支援とご協力を頂いております皆様方にはいかがお過ごしでしょうか。本法人活動の1年の振り返りと次年度に向けての方針をお伝えさせて頂く時期となりました。49年間続けてきた24時間体制は中断の時期もありましたが、今年度も各事業の継続をしていくことが出来ました。皆様のご支援と相談員の皆様のご熱意とご奉仕の賜物と、改めまして心より感謝を申し上げます。

医療従事者や社会的なインフラを支える人々が感染予防や基本的な市民生活の維持のためにご尽力しておられ、国や地方自治体などの公的機関やボランティア団体など私的機関で、様々な直接的・具体的な支援がなされています。今年度の電話相談やインターネット相談活動で伝わってくるのは、社会的な孤立・経済的な困難・心身の病気などで生きることのつらさの増幅です。これまで減少傾向にあった自殺者の増加、特に女性の自殺者数の背景に、こころの痛み・生きづらさ・不安などが伝わって参ります。

今年度の事業の特徴としては、3密の回避・手の消毒・部屋の換気など感染予防策の徹底を図りつつ、継続可能なものと中止するものとを状況に応じて関係者と協議しながら実施してきたことが挙げられます。深夜帯の休止による24時間体制の中断、養成研修の中断や延期、継続研修の中断が余儀なくされました。また、毎年恒例の後援会主催による映画会やチャリティーバザーなどが開催できませんでした。

一方で、24時間体制では、深夜帯担当者のご熱意と事務局のご尽力により、毎日ではありませんが、中断していた活動を復活いたしました。また養成研修や継続研修では、ボランティア研修スタッフの工夫で、本来の姿ではないものの、再開いたしました。3月13日には、永年活動の相談員に対する感謝式が行われました。会場とWebを利用しての開催でしたが、本法人の大黒柱である相談員のご奉仕への感謝の集いは、一人ひとりを大切にする私どもの心を目に見える形にしたものとも言えます。それぞれの中断と再開を通して、大切なものを守り抜こうとする意志の表れとして見て頂けると幸いです。

今年度のご報告は、コロナ禍での活動の現状を中心にお伝えさせて頂きました。それぞれの活動内容、相談実態とその傾向の詳細につきましては、後続の報告をご参照くださいますように。「冬来たりなば、春遠からじ」の言葉にもありますように、一見停滞している現象の中に、新たな歩みの芽生えが感じられます。今年度は、創立50周年記念事業の準備と実施が行われます。50周年のキャッチフレーズは「歩み続けて50年　いつもとなりに　これからも」に決まりました。これまでの活動の意義や成果の再確認作業を通じて、生きづらさを感じる現代社会に、ささやかでも確かな希望を伝えられる市民活動の一つとしてあり続けることが出来ますように、今後も皆様の温かなご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人いのちの電話
理事長　末松　渉

社会福祉法人いのちの電話の基本活動方針

社会福祉法人いのちの電話は、苦悩の多いこの時代に生きるものが互いによき隣人となって、ひとりひとりのいのちを大切にしようという思いから生まれました。

「いのちの電話」は、思いを同じくする多くのボランティア相談員によって「電話」「インターネット」を通じた対話を中心に次に掲げる事項を基本として活動します。

一.「いのちの電話」は、すべての人、とくに危機に直面している人、自殺を考えている人、孤独のなかにあって、助け・慰め・励ましを求めている一人一人に向けて開かれています。

一.「いのちの電話」は、相談者に対してよき隣人として開かれた心をもち、親身になって対応することを基本とします。

一.「いのちの電話」は、相談の秘密を守ります。

一.「いのちの電話」は、相談者と相談員の双方の匿名性を尊重します。

一.「いのちの電話」は、相談者の思想、信条、信仰等を尊重します。

一.「いのちの電話」による電話相談は、無料です。

一.「いのちの電話」は、所定の研修を受けた人たちによって一日 24 時間体制で相談を受付けます。

一.「いのちの電話」は、電話相談以外の相談事業についても上記に述べた諸方針で行います。

一.「いのちの電話」は、主として寄付によって自主的に運営されています。

2020 年度社会福祉法人いのちの電話概況

2021 年 3 月現在

設立	1971 年 10 月 1 日開局
法人認可	1973 年 12 月
組織	理事 11 名・監事 2 名・評議員 13 名
相談員実働数	215 名
認定者累計	1,841 名
受信件数	16,626 件（2020 年 1 月～ 12 月） 男 7,028 件　女 9,598 件
総受信件数	開局以来累計 1,370,437 件

相談時間	24 時間（年中無休） 4 月 10 日より深夜（22：00 から 8：00）の活動を休止し 9 月 1 日より日・月・火曜日は、8：00 から 22：00 まで、水木金土曜日は 24 時間
活動内容	電話相談　インターネット相談 医療相談　フリーダイヤル（毎月 10 日）
相談員養成	年 1 回公募
相談員研修	継続研修　全体研修会等
運営費	年間経費：約 3,000 万円
機関紙	広報誌「いのちの電話―東京」
関連団体	一般社団法人日本いのちの電話連盟 日本自殺予防学会

2020 年度　活動内容

Ⅰ 実施した研修

1. 養成研修（18 ヶ月）
   ● 53 期生（2 年目）第Ⅲ期　受講者数 10 名　● 54 期生（1 年目）第Ⅰ期、第Ⅱ期　受講者数 19 名
2. 継続研修
   コロナによる緊急事態宣言により ‘20 年 9 月～ 12 月と ’21 年 1 月、3 月の一部のみ実施
3. 全体研修　於研修室 300 A
   ●「コロナ感染症が投げかけるもの：支援者に今求められるものとは」‘20 年 11/9 ㈪ 講師：矢永由里子氏（西南学院大学）参加者：11 名
4. フリーダイヤル研修
   なし
5. スキルアップをはかるための個人スーパービジョン
   ●講師：飯島睦子氏（元研修委員長）岩田淳子氏（成蹊大学教授・臨床心理士）逸見敏郎氏（立教大学教授・臨床心理士）参加者：5 名
6. インターネット相談研修
   ●インターネット相談員養成研修
   ’20 年 10 月～ '21 年 4 月　講義と OJT　参加者 8 名

Ⅱ 活動

1. 役員会
   ●理事会　第 22 回～第 25 回（4 回）‘20 年 4/26、7/7、12/4、’21 年 3/3
   ●評議員会　第 9 回～第 12 回（4 回）‘20 年 4/6、5/8、8/28、’21 年 3/24
2. 研修委員会
   ●委員会の開催（4 回）‘20 年 8/7、9/10、11/6、’21 年 1/26
   ●リーダー会：　定例研修会、宿泊研修、継続グループ運営、相談員のケア、スーパービジョンの研修と実施
   ‘20 年 6/27、9/30、11/28、’21 年 3/29　・合宿（中止）
3. 運営協議会
   ●委員会の開催 第 126 回～第 127 回（2 回）‘20 年 10/10、11/14
4. ボランティア委員会
   ●各継続グループから委員を選出し、隔月に委員会を開催（2 回）‘20 年 10/10、11/14
   内容は、相互交流、情報・意見の交換、連絡、行事への参加協力、研修への提案、組織運営への理解と提案等
   ●全体会（毎年 3 月）の企画・実施 3/13
5. バザー委員会
   ●後援会主催バザーは、コロナ禍を勘案して中止した。
6. 広報委員会
   ●年 2 回、機関紙『いのちの電話 東京』を発行（‘20 年度は 163 号・164 号）
7. 財務委員会（3 回）
   ●財務（予算・決算・その他）　●委員会の開催 ‘20 年 4/17（決算案）、10/23（中間決算等）、’21 年 2/18（予算案）
8. インターネット相談委員会
   ●委員会の開催（5 回）‘20 年 6/20、8/5、9/5、12/5、‘21 年 3/20
   ●コーディネーター会の開催（5 回）‘20 年 7/18、9/26、12/19、‘21 年 2/6、3/25

Ⅲ その他

1. 相談員（55 期生）の募集
   ●コロナにより ‘21 年 4/30 まで募集
   ●応募者　119 名
2. 感謝式・全体会（3/13 ㈯）
   ●永年勤続感謝：40 年（14 期）1 名、30 年（25 期）2 名、20 年（35 期）5 名、10 年（45 期）8 名
3. 厚生労働省事業への参加協力（‘20 年 1 月～ 12 月）
   ●補助事業「自殺予防フリーダイヤル」に参加　期間：毎月 10 日（4 ～ 8 月除く）朝 8：00 ～翌朝 8：00（3 月から朝 8：00 ～ 22：00）　専用電話 1 本　参加者：延べ人数 36 名　受信件数：232 件
   ●自殺防止対策事業オープンセミナー
   「生きることの新しい意味－積極的感受－」講師：ドリアン助川氏 ‘20 年 9/19 ㈯ 14：00 － 15：30 銀座ブロッサムホール中央会館 参加者：304 名
4. その他　苦情対応　事務局で対応　相談事業に対する苦情 24 件（‘20 年 1 ～ 12 月）

2020 年度　相談の実態とその傾向

● 電話相談の統計から

2020 年（1 月～ 12 月）の電話相談受信件数は 16,626 件（前年比 22.5%減）であった。新型コロナウイルス感染拡大に伴い活動に参加できる相談員が減少したことと、深夜の相談を一時中断したことが受信件数が減少した主な原因である。男女比では、女性からの相談が多い傾向に変化は見られなかった（男性 7,028、女性 9,598）。相談を利用した年代は 50 代が最も多く、次に 40 代、60 代と高年齢層の増加傾向が続いている。相談の内容では、孤独感や孤立感、生きづらさを訴える相談が多く寄せられた。自殺傾向は若年層（10 代～ 30 代）が高いことに変わりはない。
※平均通話時間：28.8 分（男性 23.2 分、女性 33.0 分）

表 1　電話相談　年代別件数

	男性	女性	2020 年合計	2019 年合計
10 代	138	30	168	292
20 代	355	347	702	1,031
30 代	1,027	1,036	2,063	3,357
40 代	1,491	2,289	3,780	5,182
50 代	1,938	2,695	4,633	5,128
60 代	1,274	1,855	3,129	3,744
70 代	204	829	1,033	1,061
不明	601	517	1,118	1,645
合計	7,028	9,598	16,626	21,440

図 1

表 2　電話相談　問題別件数

	男性	女性	2020 年合計	2019 年合計
人生	2,169	2,656	4,825	5,741
思想・人権	56	36	92	157
職業	456	439	895	1,104
経済	242	182	424	439
家族（含親族）	455	1,493	1,948	2,726
夫婦	141	505	646	999
教育	15	27	42	93
対人	457	1,314	1,771	2,283
男女	316	325	641	1,022
身体	315	554	869	1,090
精神	1,496	1,803	3,299	4,192
情報	83	73	156	153
その他	827	191	1,018	1,441
合計	7,028	9,598	16,626	21,440

図 2

図 3 電話相談　10 年間の自殺傾向率

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
受信件数	28,377	27,517	28,276	28,164	27,161	25,443	24,135	22,194	21,440	16,626
自殺傾向率(%)	10.2	18.8	18.8	16.1	16.9	16.3	15.9	15.6	12.7	12.5

図 4 電話相談　年代別受信件数と自殺傾向率

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明
受信件数	168	702	2,063	3,780	4,633	3,129	1,033	1,118
自殺傾向数	15	117	339	577	615	254	69	94
自殺傾向率(%)	8.9	16.7	16.4	15.3	13.3	8.1	6.7	8.4

● 土曜医療相談

カトリック医師会、キリスト者医科連盟等の医師により毎週土曜日 14 時～ 17 時に行われている。

2020 年の相談件数は 304 件 (男性 107 名､女性 197 名) (男性 35%､女性 65%)。月毎の平均通話数は約 25 件である。

医療情報がネットなどで容易に得られることが影響してか、若年者からの相談件数は極めて少なく、全体としても相談件数は減少傾向にある。相談件数は減少傾向にあったが、2020 年は若干増えている。

科目別では、精神科関連が多く、治療中の方からのものが多い。コロナに関しては不安要素のひとつ程度の影響のようである。繰り返しかけてくる方も多く、疾患・医療そのものの他に、医師や家族との関係性や病を持っているための生きにくさなど、複合的な相談やただ話したいという方が多い。希死念慮のある方は少ないが、医師が直接電話で対応することで、疑問や不安を解消したり、治療意欲を持ち直すなどの支援につながることを期待したい。

【科目別】　2020 年 1 月～ 12 月

	男性	女性	合計
精神科（心療内科）	69	120	189
内科	40	49	89
外科（整形外科）	0	34	34
婦人科・産婦人科	0	6	6
泌尿器科	2	5	7
皮膚科	0	0	0
耳鼻科	0	3	3
歯科	0	1	1
眼科	0	7	7
小児科	0	0	0
性について	1	1	2
エイズ	0	0	0
健康相談	0	1	1
美容形成	0	0	0
その他	6	13	19
合計	118	240	358

* 複数回答あり

【月別相談件数】　2020 年 1 月～ 12 月

	男性	女性	合計
1 月	6	10	16
2 月	10	19	29
3 月	11	24	35
4 月	16	15	31
5 月	8	7	15
6 月	12	21	33
7 月	5	14	19
8 月	8	19	27
9 月	6	16	22
10 月	9	17	26
11 月	9	19	28
12 月	7	16	23
合計	107	197	304
2018 年			299
2019 年			231

● フリーダイヤル

毎月 10 日、全国のセンターが参加して、フリーダイヤルで電話を受けている。本年は、コロナ禍で参加できない月があったために前年比△ 60.3%となった。通常電話より自殺傾向が高く、男性からの相談が多いことが特徴である。

	男性	女性	合計
相談件数	129	103	232
自殺傾向数	35	19	54
自殺傾向率	15.1%	8.2%	23.3%
平均通話時間 (分)	18	21	20

担当延べ人数　36 人　2020 年 1 月～ 12 月

● インターネット相談

インターネット相談は、埼玉、東京、川崎センターの協同でいのちの電話みんなのインターネット相談として実施した。相談返信件数は全体で 1,362 件（男性 382 件、女性 873 件、非開示 107 件）自殺傾向率は 36.9%。10 代から 30 代の若年層からの相談が約 6 割と前年同様高い割合であるが、40 代、50 代からの相談も増加している。相談内容では、経済問題等の若干の増加にコロナの影響がうかがえる。うち東京センターが対応したのは 486 件。

また、日本いのちの電話連盟によるインターネット相談事業は、引き続き盛岡、仙台、秋田、新潟、栃木、埼玉、東京、川崎、静岡、浜松、愛知、奈良、愛媛、福岡、熊本センターにより実施した。相談件数は全体で 1,579 件（男性 565 件、女性 980 件、その他 34 件）自殺傾向率は 51.3%。うち東京センターが対応した相談は 39 件であった。

図 5 インターネット相談　年代別

図 7 過去 5 年間の電話相談とネット相談の自殺傾向比較

	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年
電話相談%	16.3	15.9	15.6	12.7	12.5
ネット相談%	47.4	45.8	37.4	39.6	36.9

図 6 インターネット相談　問題別

図 8 2020 年電話相談とネット相談の世代別比較

年代別	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代～	不明
電話%	1	4.2	12.4	22.7	27.9	18.8	6.2	6.7
ネット%	9.4	27.3	22.6	24.2	14.5	1.8	0.2	0.0

2020 年度　決算報告

● 2020 年度経常会計収支決算書　((自 2020 年 4 月 1 日　至 2021 年 3 月 31 日))

単位：円

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
賛助寄付（団体）	21,190,071	施設管理費	6,248,240
賛助寄付（個人）	11,495,133	相談員研修費・ボランティア厚生費	2,387,171
後援会チャリティ寄付	600,000	連盟連帯費	1,416,000
東京都電話事業補助金	1,825,000	通信費・交通費	2,319,382
共同募金・年賀寄付金分配金	535,952	広報費・調査研究費	824,830
研修受講料	390,500	システム運用費	612,154
雑収入	229,999	事務費・人件費	10,919,299
受取利息	12,337	減価償却費	900,000
減価償却資金積立金取崩	900,000	50 周年記念事業引当金繰入	1,000,000
		特別支援基金繰入	10,000,000
		相談事業積立金繰入	25,000,000
		当期収支差額	△ 24,448,084 ＊
経常収入総合計	**37,178,992**	**経常支出総合計**	**37,178,992**

＊相談事業積立金繰入前当期収支差額　　551,916 円となります

● 2020 年度貸借対照表　(2021 年 3 月 31 日現在)

単位：円

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
現金預金	119,739,433	預り金（公租公課・他）	48,743
仮払金	108,298	50 周年記念事業引当金	1,000,000
基本財産特定預金	100,000,000	基本金	100,000,000
ソフトウエア	3,501,360	固定資産基金	3,193,539
建物構築物	1	その他積立金	106,652,299
電話権利	1,355,020	正味財産増減差額	15,648,049
差入保証金	1,838,518	(うち当期活動収支差額)	(△ 24,448,084)
合計	**226,542,630**	**合計**	**226,542,630**

2021 年度　予算書

● 2021 年度経常会計収支予算書　(自 2021 年 4 月 1 日　至 2022 年 3 月 31 日)

単位：円

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
賛助寄付（団体）	12,500,000	施設管理費	6,123,000
賛助寄付（個人）	7,100,000	相談員研修・ボランティア厚生費	6,656,000
後援会チャリティ寄付	1,200,000	連盟連帯費	1,650,000
東京都電話事業補助金	1,825,000	通信費・交通費	2,430,000
共同募金・年賀寄付金分配金	600,000	広報費・調査研究費	730,000
研修受講料	2,045,000	システム運用費	1,671,000
雑収入	100,000	事務費・人件費等	10,378,000
受取利息	10,000	事務用消耗品費	2,152,000
相談事業積立金取崩	8,290,000	什器備品費	750,000
減価償却資金積立金取崩	900,000	減価償却費	900,000
50 周年記念事業引当金取崩	1,000,000	50 周年記念事業費	2,130,000
経常収入総合計	**35,570,000**	**経常支出総合計**	**35,570,000**

2021（令和 3）年度　事業計画

新型コロナウイルス感染症等の組織が直面する諸課題に対処し、社会福祉法人としての使命を十全に果たすため、先見力・発信力を重視した組織運営を志向しつつ、具体的施策を立案・実行する。

1. 相談事業の安定的な実施

⑴ 電話相談

電話相談の年中無休 24 時間体制を、一日も早く回復し維持継続する。

⑵ インターネット相談

インターネットメール相談を維持継続する。

⑶ 土曜医療相談

協力医師による毎週土曜日の電話医療相談を継続する。

2. 相談体制の充実と強化

変化しつつある社会の中での相談活動の役割を再認識し、いのちの電話の理念に基づいた相談活動を継続・拡充するべく、相談体制の充実・強化を図る。

⑴ 電話相談員の誓約事項の遵守と、活動内容の活性化を図る。

⑵ いままでの活動の意味や成果を確認し、相談活動の現状の問題点を洗い出し、中長期的な展望を取りまとめ組織全体での問題意識を共有する。

⑶ 相談員のモチベーションを維持し、支えるために必要な対応を推進する。

⑷ 募集要項の周知の強化、応募動機への訴求拡大などによって、相談員応募の拡充を目指す。

⑸ 認定後の研修を、継続研修を基本とし、全体研修、フォローアップ研修、個人スーパービジョンとの連携を図りつつ実施する。

3. 活動への支援拡大に向けての取り組み

いのちの電話が、広く理解され、支援を得るために、積極的な広報活動に取り組む。

⑴ 後援会主催のチャリティ行事等の実施へ協力し、健全な財政を維持する。

⑵ ホームページ等広報ツールの刷新を検討する。

⑶ いのちの電話が持っている研修ノウハウ等を地域に還元するべく、地方公共団体、企業、学校などに向けたプログラムを作成し、提供する。

4.50 周年記念事業の実施

創立 50 周年記念事業の準備を進め実施する。

5. 社会・外部組織との関係の強化

⑴ 各種の相談ネットワークとの関係づくりを進める。

⑵ 自助活動団体などとの連携を図るための方策を検討する。

⑶ 日本いのちの電話連盟および他のセンター等との連携、協力を図る。

・厚生労働省補助事業自殺防止対策事業に参加する。

・他センターと協力してインターネット相談事業の拡充を図る。

社会福祉法人　いのちの電話役員等名簿

2021 年 6 月 1 日

任期
2021 年 5 月 18 日～ 2023 年定時評議員会終結時

理　事　計 11 名

末松　渉	（社福）いのちの電話　理事長 末松 TA コミュニティ研究所所長 臨床心理士
井村　華子	弁護士
植村　みどり	（社福）いのちの電話ボランティア
大瀧　京子	（社福）いのちの電話ボランティア
大西　連	（認定 NPO 法人）自立生活サポートセンター・もやい 理事長
岡村　五十男	いのちの電話後援会会長
小澤　康司	立正大学　心理学部教授
倉本　英彦	精神科医師
栗原　郁男	（社福）いのちの電話ボランティア
長谷部　俊治	元法政大学社会学部教授　元研修副委員長
逸見　敏郎	立教大学　文学部教授

監　事　計 2 名

冨部　直希	税理士
中村　清純	水町保険診療所医師

任期
2021 年 5 月 18 日～ 2025 年定時評議員会終結時

評議員　計 13 名

岩田　淳子	成蹊大学文学部教授
神田　佳和	（社福）いのちの電話ボランティア
菊地　俊暁	慶應義塾大学医学部
北川　逸英	日本ルーテル教団杉並聖真ルーテル教会牧師
清水　和良	（社福）荒川区社会福祉協議会
杉山　恵子	（社福）いのちの電話ボランティア
高瀬　幸子	産婦人科医師、順天堂大学・浦安病院女性専用クリニック　土曜医療相談
谷口　尋子	（社福）埼玉いのちの電話理事
野田　芳朗	（社福）いのちの電話後援会理事
樋田　大二郎	青山学院大学　教育人間科学部教授
藤盛　勇紀	日本基督教団富士見町教会主任牧師
藤原　佐世美	（社福）いのちの電話ボランティア
山崎　隆	（社福）いのちの電話ボランティア

50 音順　敬称略

顧　問：朝居　健（税理士）佐藤 治隆（弁護士）福山 清蔵（立教大学　名誉教授）

後援会役員

2021 年 4 月 1 日

任期 2020 年 4 月 1 日から 2022 年後援会総会日まで

（名誉会長）
高村　治子

（会　　長）
岡村五十男

理　事　計 12 名

浅見　正博	三﨑由美子	神田　佳和	
岡内　泰子	渡邊　富子	野田　芳朗	
郡山　直	植村みどり	野呂　雅彦	
徳川　信子	各務　啓子	林　義子	

名誉顧問　計 5 名

中村　武照	田部　誠	
小澤　格	正野　建樹	
山田　忍		

監事 1 名　冨部　直希

表紙絵の作者より

「夢見て咲いている水のほとり…♪」とうたわれている可憐な水芭蕉との出会いは長野市の鬼無里村（きなさむら）でした。水芭蕉は、村の花にもなっています。

寒い冬を越え雪解けが始まった湿原にピョコンと白い顔を出している姿は、まるで花の妖精が舞い降りてきたような清々しい光景でした。輝く生命の息吹とたくましさに、圧倒されながら絵筆を握りました。

作品が所蔵されている山梨県韮崎市にある「韮崎大村美術館」は、ノーベル生理学・医学賞を受賞された大村智博士が、「優れた美術品は、本来は個人だけで楽しむものではなく、人類全ての共有財産であるもの…」とのお考えで永年に渡り収集された作品を展示しています。博士自ら設計された展望室からの霊峰富士、八ヶ岳、茅が岳のパノラマは絶景です。武田氏発祥の地であり、縁の歴史散策や隣接の白山温泉、地元の食材を使った食事処で一息されるのもお勧めです。是非一度訪れてみてはいかがでしょう。

一般社団法人　太平洋美術会会員

坂本富江

後　援　会

いのちの電話後援会は、社会福祉法人いのちの電話の財政基盤を支え、支援の輪を広げるために、また相談員をはじめとする会員相互の親睦を図ることを目的として組織されています。

寄付金募集の協力、広報活動、財政支援事業（チャリティバザー，映画会，コンサート等）の実施、センター内での相談員の便宜を図るために関連図書、古本販売、また書き損じはがき、未使用切手の収集を行っています。

■ 2020 年度チャリティ事業報告

新型コロナウィルスのパンデミックとなり、東京都での感染者が増え続ける状況の中、年度当初に計画していました下記のチャリティ事業が中止となりました。

- 8 月 11 日（土）（於：練馬文化センター）被爆ピアノコンサート
- 10 月 24 日（土）（於：東京ルーテルセンター 1F,2F）チャリティバザー
- 2 月 20 日（土）（於：東京ウィメンズプラザホール）　映画会「風をつかまえた少年」

計画を遂行する中、コロナ感染の広がりや、社会への影響を考え、開催の可否を決定することが難しい状況でした。しかし、来場者や担当者の安全と健康を慮り中止と致しました。事業を通しての人々の交流や法人いのちの電話への寄付となる収益は望めませんでしたが、またの機会を是非楽しみに待っていて頂ければ幸いです。コロナ禍の中、温かいご支援ありがとうございました。

■ 2021 年度チャリティ事業計画（予定）

- 6 月 5 日（土）（於:銀座ブロッサム）開局 50 周年記念公演「花と名曲・いのち奏でるコンサート」

※ その他のチャリティ事業は未定です。

■ 2020 年度 寄付実績

社会福祉法人いのちの電話へ 60 万円寄付

ご支援ください

東京いのちの電話には後援会があり、チャリティー活動を行っていますが、活動運営費の大部分は、個人・企業・各種団体からのご寄付に支えられています。社会福祉法人いのちの電話へのご寄付には、税制上の優遇措置がございます。

振込先

【郵便振替】 00140-3-162972　社会福祉法人いのちの電話

【銀行振込】 三菱 UFJ 銀行　神保町支店　普通預金口座　1084827　フク）イノチノデンワ

社会福祉法人

いのちの電話（東京）

■電話相談［24 時間受付中］

03-3264-4343

■自殺予防［毎月 10 日はフリーダイヤル］

0120-783-556

(8 時から翌朝 8 時まで。24 時間無料です)

■インターネット相談

https://www.inochinodenwa-net.jp/

■東京いのちの電話ホームページ

https://www.indt.jp/

東京いのちの電話　検索

［発行日］2021 年 6 月　［発行人］末松　渉　［事務局］〒 102-0071　飯田橋郵便局留

［TEL］03-3263-5794（代）　［FAX］03-3264-4949　［HP］https://www.indt.jp/　［印刷］株式会社ユニックス